



耐震化リフォームで地震に強い家づくり



Vol.102

9月1日は防災の日。いつ起こるかわからない地震に備え、我が家の耐震性を見直してみませんか。

基礎の補強

建物を支える基礎がしっかりしていなければ、地震に耐えることはできません。ひび割れを補修することにより現状の基礎の強度を維持させコンクリートの劣化を抑止します。



補強金具

柱・梁・筋かいなどの接合部を金具で補強します。しっかり固定することで住宅の倒壊を防ぎます。



壁の補強

建物の壁が横から加わる力に弱い「間仕切り壁」の場合は、筋交いや構造用合板を取り付けて補強し「耐力壁」に変えることができます。



筋交い

合板取付

腐食箇所の修繕

建物の土台や柱が腐朽していたりシロアリによる被害を受けている場合は「土台の取り替え」や「柱の根継ぎ」(柱の腐っている部分だけを交換)をして修繕します。柱や土台の接合部分には耐震用金具を使い、新しく使用する木材には必ず防腐・防蟻処理を行います。



屋根の軽量化

屋根が重いと、地震で建物が揺れたときに倒壊しやすくなります。たとえば、自宅の屋根に重量のある日本瓦を使用している場合は、それを軽量の材質のものに取り替えるだけでも耐震性が向上します。雨漏れなどの際に、屋根葺き替え工事をすると効率的です。



◆リフォーム工事と合わせて耐震化を行うことにより、工事費を抑えながら住まいの安全性を向上することができます。地震への強さや適切な耐震工事はその家によっても異なりますので、まずはヤマシナスタッフまでご相談ください。

おすすめの店



松戸市五香1-23-25
TEL.047-388-0511
定休/月曜、第2・3火曜
(祝日の場合は変則的)
営業時間11:00~15:00
17:00~21:00

かつ徳

夏真っ盛りのお屋前「そういえば最近とんかつ食べてないな」と向かった先は「かつ徳」さん。五香では人気のお店みたいです。派手な装飾はせず趣あるこの店構え・・・良い予感しかしない！きっとこの店おいしいぞ！と期待しながら店内へ。ご主人が描いているという絵手紙のようなお品書きには、かつ煮、カツカレー、串カツ、カキフライと、揚げ物中心メニューが並んでいます。どれも美味しそうでしたが、やはりわたしは王道のヒレカツ定食にしました。自家製漬物、なめこ味噌汁付きで、ごはんとかやベツはおかわり自由です。オーダーしてから少々時間はかかりますが、1枚1枚丁寧に揚げているだけあってお肉はしっとりやわらか、そして肉厚です。もちろん衣はサクサク！かみしめるとお肉の旨味がじわっと広がります。まずは岩塩をかけて一口、次はソースをかけて一口と、調味料を変えて味わえるのも楽しかったです。お腹いっぱいになりましたが、衣が薄く油も上質なためか胃もたれはありませんでした。がつつり食べてスタミナがつくので真夏のとんかつもいいかも(笑)皆さんも、ぜひ味わってみてください♪ 吉田



ヒレカツ定食¥1600

ヒレヒとくちカツ定食¥950

お箸箱とは珍しいですね

佐渡市で山品社長が講演！



8月3日、佐渡市の地域振興課よりご招待いただき、山品社長が講演会をしてまいりました。初めて登壇した3年前「聞けば聞くほど心に響く」と大好評だったことから、再度オファーをいただきました。今回は「組織強化につながる人材育成」「日々変化する社会への対応能力」など、自身の失敗談や成功秘話を交えながら、経営体制を見直すヒントを導き出しました。今回に限らず、これまでも全国で講演をしている山品社長。これからも多角的な事業を展開しつつ、少しでも企業のお役に立てるよう、全国各地で講演をしています。

屋根・外壁塗装
飛び込み営業にご注意を！

「屋根の一部が飛びそうですよ。」
「瓦がズレていますよ。」
最近、このような声を掛けてくる飛び込み営業について、お客様からのご相談が多数寄せられています。わたし達が調査にお伺いすると何も異常なかった、というケースがほとんどです。対応として、まずは名刺をもらい、インターネット等でどのような会社かを調べることが望ましいと思います。また知らない業者には、むやみに屋根に上がらせないことも重要なポイントです。

しまむーの
やっぱり本が好き！

読書の秋にピッタリ

年間購読数数百冊以上！三度の飯より本が好き！
総務部 島村(しまむー)がオススメの本をご紹介します。

2021年上半期 第165回直木賞受賞作『星落ちて、なお』をご紹介します。

幕末から明治時代に活躍した絵師、河鍋暁斎の娘とよ(河鍋暁翠)の人生を描いた物語です。私は河鍋暁斎のことはもちろん、娘のことも全く知らなかったですし、絵のことも詳しくないのですが、絵師として、ひとりの人間として、父の影に翻弄され葛藤しながらも生き抜くとの様子に共感しつつ読みました。

父の河鍋暁斎が亡くなったところから、物語はスタートします。まず印象的なのは、きょうだいの折り合いの悪さ。嫁いだきり音沙汰のない姉、事あるごとにとよに難癖をつけてくる兄、いつまでもふらふらして何でも人任せの弟、そして病弱な妹。

「きょうだいなんだから、もう少し仲良く協力しなよ」とか、「暁斎さんよ、作品作りも結構だけど、子育てちゃんとしてくれ」と思ってしまうのは、現代人の感覚なのでしょうか。それとも私がきょうだい仲に恵まれているからでしょうか。

また、とよの葛藤する姿に共感しつつも、「絵師」という才能が大きく関わる仕事において、世襲制度が当たり前に行われていたことが不思議でした。これも現代の感覚なのかしら、とも思うのですが・・・。

「あの河鍋暁斎の子」という色眼鏡さえなければ、とよも、兄も、弟も、もっとのびのび作品を作れて、その方が本人達も幸せだったのでは？と思ってしまいました。

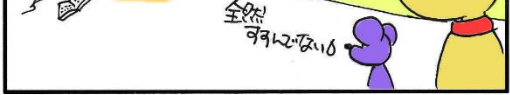
物語を通して、絵師としての幸せ、ひとりの人間(娘、姉、妹、母)としての幸せ、そもそも幸せとは？なんて、壮大なことを考えました。結論は出ませんでした・・・。

絵や歴史に興味がある方もない方も、ぜひ読んでご自身の人生における大切なものについて考えてみてはいかがでしょうか。



『星落ちて、なお』
(文芸春秋)
著者 澤田瞳子

がんばれ!サンピン君。



9月

【ホームラン記念日】9月3日。1977年のこの日、後楽園球場で巨人の王貞治選手が通算756号ホームランを打ち、それまでアメリカ大リーグのハンク・アーロンが持っていた世界最高記録を更新した。2日後の9月5日、政府は初の国民栄誉賞を贈り、その栄誉を讃えた。王選手は引退までに世界記録となる通算868本のホームランを打ち、巨人のV9に貢献した。また、2010年には文化功労者として顕彰された。昭和中期、「子どもが好きなのは巨人・大鵬・卵焼き」と言われるほど、毎日のように巨人戦がTV放送されていた。

日	月	火	水	木	金	土
8/29	30	31	1 先勝	2 友引	3 先負	4 仏滅
5 大安	6 赤口	7 友引	8 先負	9 仏滅	10 大安	11 赤口
12 先勝	13 友引	14 先負	15 仏滅	16 大安	17 赤口	18 先勝
19 友引	20 先負 敬老の日	21 仏滅	22 大安	23 赤口 秋分の日	24 先勝	25 友引
26 先負	27 仏滅	28 大安	29 赤口	30 先勝	10/1	2

- 営業時間 9:00～17:00
 - 休業日 土・日・祝日
 - 〈リフォーム相談ご予約〉0120-427-137
- ※ホームページお問合せフォームからも受付いたします。

ヤマシナホームページで
スタッフブログ更新中！
ぜひご覧くださいね♪



フリーダイヤル0120-427-137 FAX 047-446-1106
〒273-0123 千葉県鎌ヶ谷市南初富6-5-65
ヤマシナHP <http://yamashina-shoji.com/>
リフォーム <http://www.yamashina-reform.com>

ヤマシナフェイスブック	検索
ヤマシナのリフォーム	検索



10月

【貯蓄の日】10月17日。1952年勤労の収穫物であるお金を無駄遣いせずに大切にしようという意味を込め、宮中祭祀の一つで、五穀豊穡の感謝祭である「神嘗祭(かんなめさい)」の日にちなみ日本銀行が制定した。神嘗祭は、天皇がその年の新米を伊勢神宮に供える祭事。その神嘗祭の行事の趣旨を引き継ぎ、勤労の実りを大切に、貯蓄に対する関心を高め、貯蓄の増進を図ることが目的。この日を中心に優良こども銀行、貯蓄功労者の表彰などの行事が行われる。

日	月	火	水	木	金	土
9/26	27	28	29	30	1 友引	2 先負
3 仏滅	4 大安	5 赤口	6 先負	7 仏滅	8 大安	9 赤口
10 先勝	11 友引	12 先負	13 仏滅	14 大安	15 赤口	16 先勝
17 友引	18 先負	19 仏滅	20 大安	21 赤口	22 先勝	23 友引
24 先負	25 仏滅	26 大安	27 赤口	28 先勝	29 友引	30 先負
31 仏滅						

※次号スマイルは2021年11月にお届けします。

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	